

技術提案募集：AI診断技術を活用した河川施設の損傷診断

求める技術	概要	
AI診断技術を活用した河川施設の損傷診断	現状 ・ 問題点	<p>大阪府では、年1回実施している堤防や護岸等の河川施設の点検に際し、令和5年度から目視による点検に加え、近接目視が困難な箇所を中心にドローンを活用している。</p> <p>しかし、ドローンで撮影した画像を職員が確認し、施設の損傷を判断するために時間と労力を要している。</p>
	ニーズ (課題・条件等)	<p>【求める技術】</p> <p>①ドローン等で撮影した画像(動画)をAI解析し、損傷の有無や程度を判別する技術。</p> <p>②同一箇所で、撮影時期が異なる画像(動画)をAI解析し、上記①の項目の差分を判別する技術。</p> <p>【条件】</p> <p>職員が操作できる画像解析ソフト。</p>